

お互いさまと思える茨木に！  
生活者の視点を政治に！



### あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(655)8460 (留守時はメッセージをお願いいたします。)  
Email: contact@hiroko-abiko.jp  
茨木市紫明園10-74-405  
https://hiroko-abiko.jp



### 市民の方から「在宅医療」についてのご質問をいただきました。

#### ★在宅医療・介護連携事業

茨木市では、医療と介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしく療養できる「在宅療養」の体制づくりを進めています。

#### ★いばらきほっとナビ

茨木市内にある医療機関や、介護・障害福祉サービス事業所情報と地域情報を「いばらきほっとナビ」で検索することができます。  
https://carepro-navi.jp/ibaraki

#### ★「茨木市在宅医療・介護連携窓口」のご案内

平成30年度より、病気を抱えたり、介護が必要となった高齢者等が、住み慣れた地域で最期まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の医療・介護関係者を対象とした相談窓口を設置しています。(市民からの直接相談は受け付けておりません。)茨木市在宅医療・介護連携窓口 ☎072-622-6022

多職種間の連携を円滑にするための相談窓口です。まずはお気軽にご相談ください。

### JR茨木駅西口周辺WEBアンケート結果

JR茨木駅西口周辺は、昭和45年の万博開催時に整備され約50年が経過しており、施設の老朽化と魅力や賑わいの低下などが課題となっています。現在、JR茨木駅西口周辺において、利便性向上、魅力・賑わいの創出、防災性の向上などに向けて茨木市と関係者において再整備の検討を進めております。令和3年9月に策定した「JR茨木駅西口駅前周辺まちづくりビジョン」に示す将来像に向け、今後、「JR茨木駅西口駅前周辺整備基本計画」を策定することとしています。そこで、市民やJR茨木駅周辺をご利用されている皆様に、JR茨木駅周辺の利用内容や満足度をお聞きするとともに、より魅力的で利用したい・活動したい・住んでみたい・住み続けたいと思っていただけるまちになるために、JR茨木駅西口周辺に求めるまちづくり等について、ご意見を伺うためのアンケートを実施しました。【アンケート実施期間】令和3年12月1日(水曜日)から令和3年12月28日(火曜日)まで【回答者数】735人

Q13 JR茨木駅西口周辺の課題を改善するために、優先して取り組むべきと思うものは何ですか？(5つまで)



・「老朽化した建築物や狭小道路の解消」が482人で最も多い。  
・次いで、「快速に通行できる歩道の整備」が432人、「駅前広場周辺の渋滞解消」が389人。

《議会報告版》 発行日：2022年4月

編集・発行／あびこ浩子

### 茨木市議会議員(無所属)

# あびこ浩子 ゆめ・みらい通信

連絡先：(あびこ浩子事務所) 茨木市紫明園10-74-405

Facebook：あびこ浩子 | WEBサイト：https://hiroko-abiko.jp



### 2022年3月議会が終わりました。

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

コロナ禍が始まってから2年が経過し、緊急事態宣言が発出され、感染者数が減って緩和され、再び感染者数が増えて「まん延防止等重点措置」が発出されての繰り返しが続いています。ワクチン接種で混乱した昨年の経過を受けて、3回目接種については予約の取り方で混乱しないようにと、計画的に進められ現在混乱なく接種が進んでいるようです。

2022年度予算を決める3月議会が終わりました。一般会計予算額1076億9000万円、特別会計を含む総計1843億159万円、前年度比66億5321万円(3.7%)アップで議決しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、「感染防止対策」「市民生活・事業活動への支援」「新しい生活様式(DXの推進)」のそれぞれの局面に応じたコロナ対策を進めながら『豊かさ・幸せ』が実感できる“次なる茨木”の実現に向けた予算編成となりました。

ウクライナ情勢が日々伝えられてきます。幼い子どもたちも含めて多くの市民が犠牲になっている様子を見ると胸が締め付けられる思いです。平和な世界を子ども達につないでいけるように、子どもたちが夢を描ける社会であるために努力し続けていくしかありません。

### 「あびこ浩子市政報告会」のご案内

※感染状況により中止する場合があります

- 第1回 5月9日(月) 19:00 沢良宜いのち愛ゆめセンター
- 第2回 5月10日(火) 19:00 中津コミュニティセンター
- 第3回 5月11日(水) 19:00 総持寺ミカン屋
- 第4回 5月13日(金) 19:00 穂積コミュニティセンター
- 第5回 5月14日(土) 10:00 彩都西コミュニティセンター
- 第6回 5月15日(日) 10:00 耳原自治会館
- 第7回 5月16日(月) 19:00 東コミュニティセンター

#### 【あびこ浩子プロフィール】

◆ 玉櫛小・南中卒業/1980大阪府立千里高校卒業/1984関西大学文学部卒業/2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了/大学時代銭原キャンパスでカウンセラーとして活動

◆ 1984高槻市立第7中学校教諭/1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職/2000沢池幼稚園PTA会長/2002穂積小PTA会長/2006茨木市PTA協議会会長/2004NPO法人Chacha-House代表理事/2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長/2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事/2011穂積地区自主防災会会長/2012穂積地区福祉委員会副委員長/2020穂積地区福祉委員会顧問

◆ 2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選/2009・1選挙2期目当選/2013・1選挙3期目当選/2017・1選挙4期目当選/2021・1選挙5期目当選

◆ 穂積地区在住

毎週火曜日・木曜日JR茨木駅西口下、水曜城南茨木駅東口、金曜日阪急茨木市駅東口南側でご挨拶と「週刊通信」を配布させていただいています。お声をかけていただけたら嬉しいです！  
「あびこ浩子ゆめ・みらい通信」は定例議会報告版と週刊通信版があります。過去のものはHPで読むことができます。是非ご覧ください。議会報告版を郵送で購読いただける方は電話・FAX・メールでお知らせ頂ければ、お送りいたします(無料)。ご連絡お待ちしております。



あびこ浩子  
ゆめ・みらい通信

## 2022年3月定例議会報告

ネット中継・過去の動画も茨木市HP(茨木市議会)でご覧いただけます。



今年度は茨木市監査委員、民生常任委員会副委員長、市街地整備対策特別委員会、都市計画審議会の各委員として活動しています。

### 市民会館跡地新施設「おにクル」 の有料屋内子育て広場について

市民会館跡地エリアの新施設の名前が決まりました。令和3年11月1日から1か月半募集し、今年1月～2月にかけて投票も実施していた新施設・広場の愛称。市民投票の結果や、有識者の意見等を踏まえ、「おにクル」に決定しました。

令和3年11月から本体工事が始まっており、現在は基礎部分の工事が進められています。令和4年4月から建物地上部分の建築や内装工事に取り掛かり、12月ごろには施設の全体像が見えてくる予定です。

新施設「おにクル」が開館し、運営されるためにこれまでの条例が改正、新たに複合施設条例が制定されました。新施設には文化ホール(大ホール及び多目的ホール)、多目的室等、子ども支援センター及び室内ひろば、図書館、市民活動センター、プラネタリウムが入っています。

今回「おにクル」の中に、初めて有料の屋内ひろばが開設されます。有料にする点については様々な意見がありました。それでも、「おにクル」に乳幼児健診に来られる際に使用できるよう「招待チケット」を配るなどの取組をすると聞いています。この有料ひろばの子どもの入場年齢が中学校入学前までの利用となっています。更には「保護者等成年」の同伴が必要と条例にあります。ここで議論になったのが「未成年の保護者」です。成人年齢が18歳になったとはいえ、10代で出産する方もおられますし、特にその方には検診はもちろんのこと子育て相談には来ていただきたい、そんな中で「保護者等成年」としてしまうと、利用できなくなってしまいます。有料ひろばでのトラブルを懸念してのことのようですが、あまりに使い勝手が悪く感じています。この条例にはより使いやすくなるように工夫を求める意見を付した付帯決議がつけられて採決されました。

### 【新施設及び広場整備に係るスケジュール】



第43号

### 人権施策について チャレンジテストでの設問について

現在、インターネット上の差別や新型コロナウイルス感染症に関する人権侵害など、新たな人権課題があり、それらを踏まえて、令和4年度に第2次人権施策推進計画の中間見直しが予定されています。

令和3年度中学生チャレンジテスト(第3学年)国語の大問五『仮名草子集』の問題文において、とんち話を題材にしていましたが、その内容には、皮や皮革製品を扱う人への忌避意識につながる表現がありました。「テストを受けた生徒が、皮そのものや皮革製品を扱う仕事に従事している人への忌避意識や差別意識をもつこと、また、不安を抱くことは本意ではない」と大阪府教育庁は説明しています。大阪府教育庁は指導資料を各市町村に配布し、各校においてチャレンジ

テストの復習等を行う際などに活用する通知がありました。

この点について本市教育委員会では、市独自で授業プランを作成し、生徒自らが本題材の問題点に気づき、考えることができるような内容にしたとのことでした。過去問題を学習する際に今後も生徒がこの設問に触れる機会が続くのではと問いました。本市の学校ではこの設問については取り扱わないようにするとのことでしたが生徒が自らホームページを利用して学習した場合には丁寧な対応が必要となるので、具体的な方法は中学校長会と協議していくとのことでした。言葉選びの中に、差別する気持ちが表れてきます。それと気づかないまま人を傷つけることも有ります。受け手の思いを感じられる心を育てる取組を要望いたしました。

### 地区保健福祉センターについて

「地区保健福祉センター」は総合保健福祉計画において市内5圏域に1か所ずつ設置するとしています。令和3年度に東福祉センターが開設されました。東保健福祉センターのモデル実施による活動評価を見て、西・南保健福祉センターを開設するとのことでした。令和4年4月から西・南保健福祉センターがオープンしました。

しかしながら、これまで実施するとしていた東保健福祉センターの評価は実施されないまま、職員等の聞き取りを行っただけということでした。令和4年7月頃に活動の報告会を行う予定ということでしたが、そ

れが評価に値するのかどうか疑問に思います。また、国の重層的支援体制整備事業は本市の地域福祉の理念と合致しており、それを体現するセンターとして地区保健福祉センターを開設するとの説明を受けてきましたが、国の重層的支援体制整備事業の移行準備事業に一度は手を挙げながら、調整不十分で諦めたことが判明しました。その補助額3370万円を国から貰えませんでした。それでも本市は令和5年度から国の重層的支援体制整備事業を受託するとしており、これが受託されれば5050万円の国補助がいただけます。複合的な課題に対応できる地域福祉の向上を目指す取組を、保健福祉センターを中心に計画立案を行い、体制整備を急ぐように要望しました。

### 中学校給食センターの整備・運営について

全員喫食による中学校給食を実現するために、給食センターを令和4年度から6年度にかけて整備します。給食センターは茨木市彩都はなだ1丁目に建設予定となっています。

施設の整備後となる令和7年から、中学校において給食を開始する予定です。《債務負担行為(令和4年から21年度)122億8094万6千円》

調理内容ですが、予定食数が約9000食(前14中学校分)、主食・汁物・主菜・副菜の献立です。



(給食イメージ)

給食センターに併せて各中学校の配膳室等の整備も進められます。